

研究課題名: 18 歳人口減少期での大学定員拡張に関する実証研究 ; 政府と私立大学の相互作用を中心に

研究種目: 基盤研究 (C) (一般)

研究代表者: 京都文教大学 総合社会学部 准教授 平塚力

(概要)

1992 年度ピーク時に 205 万人であった 18 歳人口は、2023 年度に 112 万人に減少する一方、大学の総定員が漸増した結果、2024 年度は私立大学の 59.2%が定員割れとなった。そこで本研究は 1987-2024 年度を対象期とし、こうした現象が「なぜ・どのように生じたのか」を全体の問いとする。そのうえで高等教育政策、大学総定員に関するマクロ・データ、私立大学個々の経営データやインタビュー等を通じて、①総定員増加をもたらした政府と大学との相互作用の過程、②学生獲得をめぐる市場競争構造、③過去の定員拡張が今日の経営状況の維持・改善に寄与している大学セグメント、を明らかにする。なお本研究は、今後に予想される私立大学の淘汰という社会問題の出現原理を究明する作業でもあり、人口減少が著しい地域での大学経営のあり方を検討するなど、学术界と社会、双方への貢献を意図している。

※令和 7 年度研究計画書より抜粋